

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

平成28年3月7日

計画の名称	北杜市における下水道整備事業			
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	北杜市	
計画の目標	下水道整備を行い「生活環境の改善と公共用水域の水質保全」を図る			

計画の成果目標（定量的指標）

- ①公共下水道における下水道処理人口普及率を62.7%（H22年度当初）から63.5%（H26年度末）に増加させる
- ②大泉浄化センターにおける汚水処理能力を66%（H22年度当初）から100%（H23年度末）に増加させる
- ③処理場における長寿命化計画策定率を0%（H22年度当初）から100%（H26年度末）に増加させる

定量的指標の定義及び算定式

- ①公共下水道における下水道処理人口普及率  
下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）
- ②大泉浄化センターにおける汚水処理能力  
汚水処理能力（m3/日）／計画汚水処理能力（m3/日）
- ③処理場における長寿命化計画策定率  
長寿命化計画策定済み処理場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場数（箇所）

定量的指標の現況値及び目標値

	当初現況値 (H22年度当初)	中間目標値 (H24年度末)	最終目標値 (H26年度末)	備考
①公共下水道における下水道処理人口普及率	62.7%	63.4%	63.5%	
②大泉浄化センターにおける汚水処理能力	66.0%	100.0%	100.0%	
③処理場における長寿命化計画策定率	0.0%	31.9%	100.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	612.5 百万円	A	612.5 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	-------	-------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
北杜市下水道審議会	平成27年10月
	公表の方法
	北杜市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1-1	下水道	一般	北杜市	直接	-	分流	新設	武川処理区（普及促進）	L=1,430m	北杜市						140.7	
A1-1-2	下水道	一般	北杜市	直接	-	処理場	新設	武川浄化センター	自家発電設備	北杜市						21.1	
A1-2-1	下水道	一般	北杜市	直接	-	分流	新設	高根中央処理区（普及促進）	マンホールポンプ1基	北杜市						39.9	
A1-3-1	下水道	一般	北杜市	直接	-	処理場	増設	大泉浄化センター	水処理施設	北杜市						170.9	
A1-4-1	下水道	一般	北杜市	直接	-	汚水	新設	高根中央須玉第一処理区（普及促進）	L=1,253m	北杜市						146.0	
A1-5-1	下水道	一般	北杜市	直接	-	処理場	改築	処理場（長寿命化）	長寿命化計画策定	北杜市						70.5	
A1-6-1	下水道	一般	北杜市	直接	-	汚水	新設	長坂処理区（普及促進）	マンホールポンプ 自家発電施設	北杜市						15.8	
A1-7-1	下水道	一般	北杜市	直接	-	汚水	新設	明野処理区（普及促進）		北杜市						0.0	
A1-8-1	下水道	一般	北杜市	直接	-	汚水	新設	日野春処理区（普及促進）	L=55m	北杜市						7.6	
小計（下水道事業）											612.5						
合計											612.5						

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
合計											0						

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
C1-1	下水道	一般	北杜市	直接	-	分流	新設	武川処理区枝線整備		北杜市						0	
合計											0						

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		下水道処理人口普及率は、62.7%から63.7%となり、総人口48,297人に対し、30,751人が下水道を利用している。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	63.5%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画的な事業実施により、目標を達成することができた。 平成22年度当初総人口49,201人、下水道を利用できる人口30,828人、平成26年度末総人口48,297人、下水道 を利用できる人口30,751人
		最終実績値	63.7%		
	指標②（大泉浄 化センターにお ける汚水処理能 力）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画的な事業実施により、目標を達成することができた。 平成22年度当初汚水処理能力2,378m <sup>3</sup> /日、平成23年度末汚水処理能力3,568m <sup>3</sup> /日、計画汚水処理能力 3,568m <sup>3</sup> /日
		最終実績値	100.0%		
	指標③（処理場 における長寿命 化計画策定率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	処理場の統合計画を検討するなかで、長寿命化対策をすべき処理場の選定に不測の日数を要したため、目標 達成ができなかった。 平成22年度当初長寿命化計画策定済み処理場数0箇所、平成26年度末長寿命化計画策定済み処理場数1箇所、 長寿命化計画を策定すべき処理場数13箇所
		最終実績値	7.7%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		AI-1-2武川浄化センターにおける自家発電装置の整備により、電力喪失時の機能維持が可能となった。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>住民意向を踏まえた処理区域の見直しを行い、処理場の統廃合を行うことで効率的で持続的な管理運営を図る。また、処理手法を見直した区域については、優先的に合併処理浄化槽の補助金を交付し、汚水処理施設の普及に取り組んでいく。</p> <p>また、各処理場における長寿命化については、今後、下水道事業計画及び経営戦略を平成30年までに策定し、経営比較分析等を行いながら計画的に進めていく。</p>					

